

# 二級建築士 木造建築士 免許申請書

〔記入注意〕 数字は算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中に✓印を付けてください。  
外国の建築士免許を受けた方は、「試験」の欄に、その免許の名称、免許者名及び免許の年月日を記入してください。  
氏名の記載を自署で行う場合においては押印を省略することができます。

私は、二級建築士 木造建築士の免許を受けたいので、戸籍抄本(謄本)及び登記事項証明書を添え申請します。下記事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。

年 月 日

長野県指定登録機関  
社団法人 長野県建築士会 会長 様

氏名 \_\_\_\_\_ (印)

ふりがな 氏名	生年 月日	昭和 平成	年	月	日	写真貼付欄 注意 1. 申請者本人のみ 2. 6ヶ月以内に撮影したもの 3. 正面、無帽、無背景 4. 縦45mm×横35mm
本籍				性別 男□ 女□	* 写真の裏面に申請都道府県名と氏名を記入してから、のりでしっかりと貼り付けてください。 * 貼付した写真はカードに転写されます。	
現住所	〒 _____ TEL _____					
試験 選考	二級建築士 木造建築士 試験に合格した時期 _____ 年					
	合格通知日付	平成	年	月	日	合格通知番号 _____ 第 _____ 号

欠  
格  
事  
由

- 1 後見開始又は保佐開始の審判(禁治産又は準禁治産の宣告もこれに該当するとみなされます。)を受けていますか。 いる□ いない□
- 2 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 ある□ ない□  
あるときは、その罪及び刑 \_\_\_\_\_  
あるときは、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日 \_\_\_\_\_ 年 月 日
- 3 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 ある□ ない□  
あるときは、その罪及び刑 \_\_\_\_\_  
あるときは、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日 \_\_\_\_\_ 年 月 日
- 4 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 ある□ ない□  
あるときは、その日 \_\_\_\_\_ 年 月 日
- 5 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 ある□ ない□  
業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで

※審査欄	手数料 確認	写真 照合	戸籍 照合	合格者 照合	欠格 審査	名簿 登録	免許 証発行
※登録 番号							
※登録 年月日		年 月 日					
※都道府県 受付番号							

振替払込受付証明書 貼付欄

※ここには原本を貼り付けてください。  
※貼る前に必ずコピーをとり保管しておいてください。

(様式 第2-1号)

二級・木造建築士免許申請電算入力票(新規)

受付番号

登録番号

申請都道府県
長野県
都道府県コード 2 0

合格年月日
合格番号
S 昭和
H 平成
年 月 日
合格年
受験番号

建築士区分
2 二級
3 木造

欠格事由
1 後見開始又は保佐開始の審判(禁治産又は準禁治産の宣告もこれに該当するとみなされます。)を受けています。
2 禁錮以上の刑に処せられたことがあります。
3 建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがあります。
4 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがあります。
5 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがあります。

写真貼付欄
注意
1. 申請者本人のみ
2. 6ヶ月以内に撮影したもの
3. 正面、無帽、無背景
4. 縦45mm×横35mm
\* 写真の裏面に申請都道府県名と氏名を記入してから、のりでしっかりと貼り付けてください。
\* 貼付した写真はカードに転写されます。

※姓名は左詰めで記入してください。
※閲覧用データベース登録のため、パソコンで表示可能な字体で記入してください。

フリガナ
姓
フリガナ
名

フリガナ
旧姓

フリガナ
通称名

生年月日
性別
T 大正
S 昭和
H 平成
年 月 日
1 男
2 女

事務局欄

本籍地
都道府県コード
都道府県
区 市 郡
区 町 村

外国籍
国名コード
国名

現住所
郵便番号
都道府県コード
都道府県
区 市 郡
区 町 村
現住所電話番号(携帯も可)

勤務先住所(名称・業務種別・所在地)
名称
建築士事務所の開設者名
(※建築士事務所所属の場合に記入)
業務の種別
01. 建築設計(02及び03を除く) 02. 構造設計 03. 設備設計 04. 積算 05. 工事監理又は工事の指導監督 06. 現場管理 07. 技能労務 08. 調査又は鑑定 09. 手続代理 10. 敷地選定等の企画 11. 研究又は教育 12. 行政 13. その他
郵便番号
都道府県コード
都道府県
区 市 郡
区 町 村
電話番号(携帯も可)

※国名コード、都道府県コードはJIS規格による。
※個人情報保護について
1) 記入された内容は個人情報保護法に基づき適切な方法で管理します。
2) 記入された内容は一級建築士資格登録者データベースに登録・管理され、カード型免許登録証明書の作成及び閲覧用データベース(資格者情報のみ公開)に利用する以外の目的としては使用しません。

(様式 第3号)

建築士住所等の届出

二級・木造		届出日	平成 年 月 日				
ふりがな		生年月日	明大昭	年	月	日	性別
氏名							
本籍地 (都道府県名)							
ふりがな	〒						
住所	(電話番号 )						
登録番号	二級建築士 長野 第 号	登録年月日	年 月 日				
業務の種別	1 建築設計(2及び3を除く)		8 調査又は鑑定				
	2 構造設計		9 手続代理				
	3 設備設計		10 敷地選定等の企画				
	4 積算		11 研究又は教育				
	5 工事監理又は工事の指導監督		12 行政				
	6 現場管理		13 その他				
	7 技能労務						
勤務先	名称	建築士事務所の開設者名 (建築士事務所所属の場合に記入)					
	所在地	〒 (電話番号 )					

- (注) 1 二級・木造欄は、該当する方を○で囲んでください。  
2 業務の種別及び勤務先の欄は、建築に関する業務に従事しているときに記入してください。  
3 業務の種別欄は、該当する数字を○で囲んでください。  
2種類以上の業務に従事しているときは、主に従事しているものを1つ○で囲んでください。  
4 建築士事務所に勤務しているときは、その事業所の開設者名を勤務先の名称の欄に併記してください。